

精神科救急・臨床倫理コース

主たる研修病院 (所属病院)		東京都立松沢病院
連携して研修する病院・施設(予定)		なし
研修時に必要とする知識・技量 (応募資格)		精神保健指定医及び精神科専門医を取得済みもしくは申請済みであること サブスペシャリティとして精神科救急を志していること
コース 責任者	氏名(所属)	正木秀和(東京都立松沢病院精神科)
	資格名	日本精神神経学会専門医・指導医 日本精神科救急学会認定医・指導医 一般病院連携精神医学専門医・指導医
	専門分野	精神科一般、精神科救急
臨床指導体制		指導医とともに精神科診療にあたる。 病棟カンファレンス、外来カンファレンスなどを通じて、多くの上席医から指導が受けられる。
臨床研究	これまで 行ってきた 研究と実績	精神科救急における薬剤選択(他施設共同研究) 精神病的障害を併存する強迫性障害についての臨床的研究 スマートフォン依存に関する臨床的研究
	今後行う 研究と 研究体制	精神科急性期医療における強制行使の機械学習予測モデルの開発と、倫理的な実装方法の探索 重篤な精神症状と身体疾患が併存するケースにおける、合併症医療の治療方針とアウトカムの関係性の因果推論 大規模データベースを用いた、精神疾患の有無に応じた医療者のDNAR取得プロセスの解明
研修項目		精神科救急医療における高度な臨床スキルの獲得:患者ニーズに沿った精神科救急医療を提供するには、まず正確な診断および迅速な対応力が求められるため、多様かつ重症な症例(非自発的入院症例、合併症医療、摂食障害など)を対象に、臨床データに基づいた診断能力、エビデンスに基づく薬物療法および精神療法の適切な選択や実施法を習得する。特に当院の特性として重症例や身体合併症症例の豊富さがあるため、これらを活用しつつ、指導医とともにマネジメントを行い、さらに後進の指導も経験しながら、チーム医療の深化を図る。 精神科臨床倫理実践スキルの修得:非自発的医療を要する精神科救急医療においては、倫理的意思決定が臨床の質に直結する。このため、当院で活動している臨床倫理チームに加わり、実事例を通じて多職種との連携の中での合意形成や適切な意思決定プロセスの促進方法を体得する。現場での実践を通じて高度な倫理的判断力と調整力を養う。 臨床研究の推進:精神科救急や臨床倫理の現場から析出された課題をもとに、臨床研究を実施する。当院が有する高ボリュームかつ高複雑性の臨床データを活用し、さらに機械学習等の新規手法を適用することで、実用的かつ倫理的妥当性のある研究成果を創出できるよう指導を受ける。
研修内容・達成目標		精神科非自発的入院症例: 200件以上の経験 非自発的治療症例: 100件以上の経験 精神科合併症症例: 30件以上の経験 精神科臨床倫理チーム介入事例: 20件以上の参加 英文論文投稿
コース内容に関する 問合せ先		東京都立松沢病院精神科 正木秀和 hidekazu_masaki@tmhp.jp